

# 現業協だより No.10

福島県職員連合労働組合現業協議会 2020.4.20

## 常任委員会は中止 全組合員に春闘要求書に対する意見集約中！！

新型コロナウイルスの影響により、常任委員会を中止とし、資料の配付による常任委員会を開催しました。

春闘時に提出する人員に関する要求書は、全組合員から意見を集約することにしました。一人一人の意見を集約し、全員参加型の活動を強化します。必ず支部等に提出してください。(24日までです！)

昨年実施した全分会に対するアンケート結果と、分会訪問からいただいた声をもとにした要求人員数の一覧表を添付しました。各部会が結んだ確認事項と乖離する内容ですが、技能労務職員に関する事項については、現状に合った人員配置数を要求する事が確認されていますので、部会の確認事項にとらわれずに現場にあった意見をお願いします。今後は、職名の変更も検討していきたいと思いますのでご意見をお待ちしています。

また、各支部現業協の体制を再度構築します。現業組合員が減少していますが、再任用職員を含んだ複数での体制構築を目指します。これは各職場の問題がスムーズに現業協に伝わり、さらには、現業協の活動が組合員全員に伝わるための基本となる仕組みです。特に組合員の多い福島支部・郡山支部は四役体制が構築できるようにみなさんのご協力をお願いします。調整がつかない場合は、現業協四役で訪問のうえ構築に向けて努力します。

最後に、現業協議会の交渉のあり方や、各部会との連携について、今後、県職労本部と調整を行い法的な部分については、専門機関等に助言をいただきながら、技能労務職員が持っている権利を100%活用できる仕組み作りに取り組んでいきますので、みなさんも現業協の活動や県職労の活動に参加をお願いします。

## 新年度を迎え職場に問題はありませんか？

4月から会計年度任用職員に制度が変わりましたが、業務に支障は出ていますか？高齢者が多くの業務の運営がスムーズに行えない。募集を行っても、きちんと選考できる人数に届かず採用をしたところ業務の質が低下しているといった報告もされています。

さらには、猛威をふるう新型コロナウイルス関連業務では、検体搬送業務が増加し、その業務に非現業職員が多数従事しています。有事の際は業務過多となり、ただでさえ足りない人員を、運転業務等に駆り出されるという状況になっています。

有事の際は、誇りを持ち、責任感のある正規技能労務職員が存在することが県民の生活を守っていることを、東日本大震災で学んできました。教訓をもう一度思い出し、県民生活を守る為に現場力の再構築を県当局に強く要求していく必要があります。

これから時代だからこそ、技能労務職員が必要です。職場の問題点等がありましたら、迷わず連絡をいただければと思います。

### 2020年役員体制

会長	田中光一	副会長	草野浩一
副会長	菅野人司	事務局長	小林祐一
"	小林 淳	事務局次長	二瓶正則

# 2020年具体的な取り組みについて（再掲）

現業協議会はこの1年間を反省し、運動の強化と見直しを進めていきます。

## 1 現業協役員がやるべきこと

- ・現業協役員を中心に、「見える運動」を進めています。  
　　昨年同様に、できる限り職場訪問を実施し組合員と意見交換を進めます。
- ・現業協各支部体制の再構築  
　　常任委員が中心となり県内全ての支部で現業協の組織体制を再度構築します。  
　　専門員の先輩方も含め、体制を強化していきます。
- ・運動が低迷しないように、役員一人一人が積極的に学習会に参加し、様々な法律・制度の学習や他県の状況など情報収集を行い運動に活かしていきます。
- ・誰でも参加できるイベント等を企画し、全員参加型の活動を進めていきます。
- ・県民に現業職場を理解してもらえるように、活動の場を広げていきます。災害ボランティア地域の清掃活動、NPOなどと連携し様々な慈善活動に参加していきます。

## 2 組合員がやるべきこと

- ・一人一人が業務の中で、周りの職員から、そして県民から必要とされるように意識し「新たな技能職」の確立に向けて、無理のない取り組みをしましょう。
- ・これからさらに厳しい情勢が続きます。現業協の最大の武器である「交渉」の進め方を変える為にも、基本組織である県職労に結集し、一丸となって変えていく必要があります。さらには、各職場分会の運動も、人事評価制度により県民の為に言いたいことが言えない現状が見られます。そういう現状を踏まえ、私たち現業協組合員が中心となって取り組んでいく必要があります。  
是非、県職労の取り組みにも積極的に参加しましょう。
- ・定年まであと数年だから。という「あきらめ」は捨て、県民生活を守っているというプライドを思い出してください。若い職員が入職し、職場が活性化することを目指して現場のため県民のためが一番優先されるような福島県にしていきましょう！

## 今後の日程

緊急事態宣言により、全ての予定が白紙状態です。決定しだい報告いたします。

### 編集後記

毎日のニュースでは、新型コロナウイルスの報道により不安になってしまいます。しかし、医療の現場や保健福祉現場では、多くの仲間たちが奮闘しています。全国でも、様々な現場で住民の生活を守るために技能労務職員が踏ん張っているそうです。

ただ、私たち公務員は民間の方よりは生活に影響が少ないので事実で、公務員として身を削る何かをするべきではないかと日々葛藤しています。みなさんはどうですか？